

14時30分解禁

平成21年6月 全国百貨店売上高概況

平成21年7月21日

I. 概況

1. 売上高総額	5,319億円余
2. 前年同月比	-8.8% (店舗数調整後/16か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	87社 272店 (平成21年5月対比-2店)
4. 総店舗面積	6,690,234㎡ (前年同月比:-2.0%)
5. 総従業員数	98,315人 (前年同月比:-4.2%)
6. 3か月移動平均値	11-1月 -8.4%、12-2月 -9.8%、1-3月 -11.2%、 2-4月 -12.0%、3-5月 -12.3%、4-6月 -10.8%

[参考] 平成20年6月の売上高増減率は-7.6% (店舗数調整後)

【6月売上の特徴】

16か月連続で前年同月比マイナスとなった。

6月は、厳しい雇用情勢や夏のボーナスの減額傾向など、基調的には個人消費に対するマイナス与件に大きな変化はないものの、政府による景気下げ止まり判断や各種経済対策の効果などから、消費マインドにも若干の明るさが見え始めた。加えて百貨店各社が例年以上に集客施策を強化した結果、売上減少のテンポは緩やかとなり、前月(-12.3%)と比較してマイナス幅は3.5%改善した。売上減少率が一桁に回復したのは5か月ぶりとなる。

具体的な動向としては、引き続き高額品やプロパー商材が不振であったこと、日曜日が前年に比べ1日減であったことなどマイナス要素もあったが、北日本を除いて高温少雨と天候に恵まれたこと、一部サマーセールの前倒しや値頃商材の拡大などを背景として主力の婦人衣料に動きが見られたこと、中元商戦についても早期受注特典の効果から出足好調に推移したことなどプラス要素が重なり、特に中旬以降からは業績回復の兆しが見られた。

【要因】

- (1) 天候：気象庁発表「6月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)
◇ 北日本では曇りや雨の日が多く、日照時間が少なかった。東日本日本海側と西日本では日照時間が多く少雨となった。また、北日本から西日本にかけては高温となり、特に下旬は顕著な高温となった。
- (2) 営業日数増減 29.8日 (前年同月比-0.1日)
- (3) 土・日・祝日の合計 8日 (〃 -1日/日曜1日減)
- (4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
①増加した：12店、②変化なし：15店、③減少した：116店、④不明：45店
- (5) 6月歳時記 (中元、父の日) の売上 (同上)
①増加した：37店、②変化なし：41店、③減少した：47店、④不明：63店
- (6) 翌月上見通し (回答店舗数で見る傾向値)
①増加する：2店、②変化なし：36店、③減少する：91店、④不明：59店

全国百貨店 売上高速報 2009年06月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	531,904,147	100.0	-8.8 (-9.5)
10都市	343,837,267	64.6	-9.4 (-10.1)
札幌	12,944,149	2.4	-7.6 (-10.8)
仙台	6,435,847	1.2	-10.9
東京	133,436,495	25.1	-11.4 (-12.5)
横浜	30,576,352	5.7	-8.5 (-10.4)
名古屋	30,015,999	5.6	-7.7
京都	20,736,339	3.9	-7.5
大阪	69,473,198	13.1	-8.0
神戸	15,278,913	2.9	-7.0
広島	11,979,324	2.3	-7.4
福岡	12,960,651	2.4	-9.6
10都市以外の地区	188,066,880	35.4	-7.8 (-8.4)
北海道	4,352,976	0.8	12.0
東北	10,118,899	1.9	-10.9
関東	92,324,668	17.4	-9.0
中部	14,698,734	2.8	-7.2
近畿	18,242,384	3.4	-6.6
中国	12,799,192	2.4	-7.1 (-5.7)
四国	9,469,418	1.8	-6.6 (-10.2)
九州	26,060,609	4.9	-7.1 (-10.9)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	531,904,147	100.0	-8.8 (-9.5)
紳士服・洋品	38,662,880	7.3	-15.0 (-15.4)
婦人服・洋品	112,359,613	21.1	-9.8 (-10.4)
子供服・洋品	10,476,440	2.0	-8.3 (-8.7)
その他衣料品	14,894,603	2.8	-12.7 (-13.3)
衣 料 品	176,393,536	33.2	-11.1 (-11.7)
身のまわり品	64,854,484	12.2	-11.4 (-12.2)
化粧品	27,115,134	5.1	-7.0 (-7.4)
美術・宝飾・貴金属	26,182,546	4.9	-16.5 (-17.4)
その他雑貨	21,356,906	4.0	-18.8 (-19.1)
雑 貨	74,654,586	14.0	-14.0 (-14.6)
家 具	7,097,496	1.3	-14.1 (-14.4)
家 電	1,946,253	0.4	-5.9 (-6.2)
その他家庭用品	17,112,436	3.2	-8.5 (-9.0)
家 庭 用 品	26,156,185	4.9	-9.9 (-10.3)
生 鮮 食 品	34,920,511	6.6	-1.4 (-2.2)
菓 子	35,878,946	6.7	-2.2 (-3.1)
惣 菜	29,170,134	5.5	-8.4 (-9.1)
その他食料品	60,273,009	11.3	-2.4 (-3.5)
食 料 品	160,242,600	30.1	-3.3 (-4.2)
食 堂 喫 茶	14,750,488	2.8	-7.4 (-8.2)
サ ー ビ ス	5,547,294	1.0	-4.4 (-5.4)
そ の 他	9,304,974	1.7	9.8 (8.3)
商 品 券	24,804,986	4.7	-8.2 (-9.2)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -9.4% (店舗数調整後／16か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -7.8% (〃 ／24か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-9.4	-6.1	16か月連続マイナス
札幌	-7.6	-0.2	10か月連続マイナス
仙台	-10.9	-0.1	14か月連続マイナス
東京	-11.4	-2.9	16か月連続マイナス
横浜	-8.5	-0.5	11か月連続マイナス
名古屋	-7.7	-0.4	19か月連続マイナス
京都	-7.5	-0.3	10か月連続マイナス
大阪	-8.0	-1.0	16か月連続マイナス
神戸	-7.0	-0.2	15か月連続マイナス
広島	-7.4	-0.2	16か月連続マイナス
福岡	-9.6	-0.2	11か月連続マイナス
10都市以外の地区	-7.8	-2.7	24か月連続マイナス
北海道	12.0	0.1	20か月ぶりプラス*
東北	-10.9	-0.2	15か月連続マイナス*
関東	-9.0	-1.6	24か月連続マイナス
中部	-7.2	-0.2	15か月連続マイナス
近畿	-6.6	-0.2	15か月連続マイナス
中国	-7.1	-0.2	13か月連続マイナス*
四国	-6.6	-0.1	24か月連続マイナス
九州	-7.1	-0.3	22か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、5か月連続で全品目がマイナスとなった。しかし、全品目が先月より改善しており、特に婦人服・洋品は5.2ポイントの改善となった。食料品も生鮮食品、菓子、その他食料品の健闘により1.9ポイント改善した。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-8.8	—	16か月連続マイナス
紳士服・洋品	-15.0	-1.2	15か月連続マイナス
婦人服・洋品	-9.8	-2.1	24か月連続マイナス
子供服・洋品	-8.3	-0.2	10か月連続マイナス
その他衣料品	-12.7	-0.4	16か月連続マイナス
衣料品	-11.1	-3.8	24か月連続マイナス
身のまわり品	-11.4	-1.4	22か月連続マイナス
化粧品	-7.0	-0.3	7か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-16.5	-0.9	28か月連続マイナス*
その他雑貨	-18.8	-0.8	19か月連続マイナス*
雑貨	-14.0	-2.1	16か月連続マイナス
家具	-14.1	-0.2	19か月連続マイナス
家電	-5.9	0.0	18か月連続マイナス
その他家庭用品	-8.5	-0.3	16か月連続マイナス
家庭用品	-9.9	-0.5	19か月連続マイナス
生鮮食品	-1.4	-0.1	5か月連続マイナス*
菓子	-2.2	-0.1	5か月連続マイナス*
惣菜	-8.4	-0.5	13か月連続マイナス*
その他食料品	-2.4	-0.3	5か月連続マイナス*
食料品	-3.3	-0.9	5か月連続マイナス
食堂喫茶	-7.4	-0.2	11か月連続マイナス
サービス	-4.4	0.0	3か月連続マイナス
その他	9.8	0.1	10か月連続プラス
商品券	-8.2	-0.4	24か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

平成21年6月 東京地区百貨店売上高概況

平成21年7月21日

I. 概 況

1. 売上高総額	1,334億円余
2. 前年同月比	-11.4% (店舗数調整後/16か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-9.9%(88.9%) : 非店頭-21.6%(11.1%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	14社 27店 (平成21年5月対比-1店)
5. 総売場面積	947,026㎡ (前年同月比:-4.2%)
6. 総従業員数	19,202人 (前年同月比:-1.5%)
7. 3か月移動平均値	11-1月 -9.2%、12-2月 -10.5%、1-3月 -11.4%、 2-4月 -12.2%、3-5月 -12.9%、4-6月 -12.4%

[参考] 平成20年6月の売上高増減率は-7.4% (店舗数調整後)

【6月売上の特徴】

- (1) 日曜日の1日減を考慮すると、都内各店とも入店客数はほぼ前年並み(96~97%)に推移したが、客単価の下落が原因となって売上全体の水準を押し下げる傾向が続いている。
- (2) 6月の中元商戦は前年並みから若干プラスするなど比較的好調に推移しており、特にウェブ受注に関しては多くの店で二桁増(5割増の店もある)を記録している。
- (3) デフレ傾向の中、引き続き高額品の苦戦が続いているが、一部海外ブランドや高級時計などの分野で前年をクリアする商材も出てきた。
- (4) 自宅で料理する志向の強まりを背景に、生鮮食品が前年比プラスしたほか、エプロンや調理器具等キッチン回りの商材に動きが見られる。
- (5) ビアガーデンは連日盛況で、6月は開設しているほとんどの店で過去最高の売上を記録した。手軽にアウトドア感覚を楽しめることが人気の背景にあり、今年は特に女性同士やファミリーなど客層の広がりも見られる。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した: 3店、②変化なし: 1店、③減少した: 16店、④不明: 2店
- (3) 6月歳時記(中元、父の日)の売上(同上)
 - ①増加した: 5店、②変化なし: 6店、③減少した: 5店、④不明: 6店
- (4) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)
 - ①増加する: 0店、②変化なし: 8店、③減少する: 11店、④不明: 3店

東京地区百貨店 売上高速報 2009年06月

※店舗数調整後 () が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	133,436,495	100.0	*-11.4 (-12.5)
紳士服・洋品	10,111,478	7.6	-18.5 (-19.0)
婦人服・洋品	26,046,070	19.5	-13.6 (-14.4)
子供服・洋品	1,854,688	1.4	-11.8 (-12.0)
その他衣料品	3,108,968	2.3	-17.6 (-18.6)
衣 料 品	41,121,204	30.8	-15.1 (-15.8)
身のまわり品	17,613,828	13.2	-12.7 (-14.6)
化粧品	6,655,648	5.0	-10.6 (-11.0)
美術・宝飾・貴金属	6,917,921	5.2	-19.6 (-20.6)
その他雑貨	6,877,626	5.2	-19.8 (-20.2)
雑 貨	20,451,195	15.3	-17.0 (-17.6)
家 具	2,031,151	1.5	-20.5 (-21.1)
家 電	645,863	0.5	-8.7 (-8.7)
その他家庭用品	4,187,615	3.1	-19.5 (-20.2)
家 庭 用 品	6,864,629	5.1	-18.9 (-19.5)
生 鮮 食 品	6,349,234	4.8	0.9 (-0.4)
菓 子	9,575,308	7.2	-0.9 (-2.8)
惣 菜	7,052,082	5.3	-9.1 (-10.5)
その他食料品	16,074,633	12.0	-6.1 (-8.1)
食 料 品	39,051,257	29.3	-4.3 (-6.1)
食 堂 喫 茶	3,458,110	2.6	-9.9 (-11.3)
サ ー ビ ス	1,947,449	1.5	6.4 (6.3)
そ の 他	2,928,823	2.2	23.4 (22.2)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

商 品 券	5,841,337 千円	*-5.6 (-8.7)
従 業 員 数	19,202 人	-1.5
店 舗 面 積	947,026 m ²	-4.2

営 業 日 数	30.0 日	前年	30.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、全品目がマイナスとなった。しかし、衣料品、身のまわり品、雑貨、食料品は先月より改善した。特に食料品は堅調で、菓子も健闘したが、生鮮食品は10か月ぶりにプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-11.4	—	16か月連続マイナス
紳士服・洋品	-18.5	-1.5	15か月連続マイナス
婦人服・洋品	-13.6	-2.7	11か月連続マイナス
子供服・洋品	-11.8	-0.2	10か月連続マイナス
その他衣料品	-17.6	-0.4	14か月連続マイナス
衣料品	-15.1	-4.9	11か月連続マイナス
身のまわり品	-12.7	-1.7	15か月連続マイナス
化粧品	-10.6	-0.5	7か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-19.6	-1.1	10か月連続マイナス*
その他雑貨	-19.8	-1.1	13か月連続マイナス*
雑貨	-17.0	-2.8	14か月連続マイナス
家具	-20.5	-0.3	15か月連続マイナス
家電	-8.7	0.0	18か月連続マイナス
その他家庭用品	-19.5	-0.7	13か月連続マイナス
家庭用品	-18.9	-1.1	13か月連続マイナス
生鮮食品	0.9	0.0	10か月ぶりプラス*
菓子	-0.9	-0.1	5か月連続マイナス*
惣菜	-9.1	-0.5	15か月連続マイナス*
その他食料品	-6.1	-0.7	5か月連続マイナス*
食料品	-4.3	-1.2	9か月連続マイナス
食堂喫茶	-9.9	-0.3	8か月連続マイナス
サービス	6.4	0.1	8か月連続プラス
その他	23.4	0.4	10か月連続プラス
商品券	-5.6	-0.2	16か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

全国百貨店 売上高速報 2009年01月～2009年06月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後（ ）が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	3,213,385,487	100.0	-11.0 (-11.2)
10都市	2,055,668,820	64.0	-11.4 (-11.6)
札幌	82,466,309	2.6	-8.7 (-11.4)
仙台	42,133,246	1.3	-13.0
東京	798,173,373	24.8	-11.9 (-11.5)
横浜	175,081,512	5.4	-10.7 (-12.6)
名古屋	186,192,903	5.8	-12.1
京都	125,769,887	3.9	-9.7
大阪	402,601,897	12.5	-11.6
神戸	86,357,735	2.7	-12.3
広島	73,623,725	2.3	-10.1
福岡	83,268,233	2.6	-11.2
10都市以外の地区	1,157,716,667	36.0	-10.2 (-10.4)
北海道	23,468,582	0.7	-4.7
東北	64,359,165	2.0	-12.7
関東	555,644,142	17.3	-10.7
中部	90,989,319	2.8	-10.1
近畿	105,519,113	3.3	-10.1
中国	79,052,563	2.5	-10.0 (-7.8)
四国	60,411,163	1.9	-10.8 (-14.3)
九州	178,272,620	5.5	-8.1 (-9.3)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	3,213,385,487	100.0	-11.0 (-11.2)
紳士服・洋品	232,725,422	7.2	-15.8 (-16.0)
婦人服・洋品	778,946,186	24.2	-13.9 (-14.1)
子供服・洋品	97,460,253	3.0	-10.5 (-10.8)
その他衣料品	91,698,017	2.9	-12.6 (-12.8)
衣 料 品	1,200,829,878	37.4	-13.9 (-14.1)
身のまわり品	405,004,537	12.6	-14.2 (-14.3)
化粧品	164,085,537	5.1	-6.6 (-6.7)
美術・宝飾・貴金属	140,861,506	4.4	-19.0 (-19.3)
その他雑貨	142,694,921	4.4	-17.7 (-17.6)
雑 貨	447,641,964	13.9	-14.4 (-14.5)
家 具	43,887,746	1.4	-21.6 (-21.5)
家 電	10,519,495	0.3	-14.0 (-14.4)
その他家庭用品	106,843,457	3.3	-10.5 (-10.7)
家 庭 用 品	161,250,698	5.0	-14.0 (-14.2)
生 鮮 食 品	175,505,017	5.5	-3.1 (-3.4)
菓 子	221,150,757	6.9	-3.0 (-3.2)
惣 菜	171,745,028	5.3	-6.9 (-7.1)
その他食料品	243,177,504	7.6	-2.6 (-2.9)
食 料 品	811,578,306	25.3	-3.8 (-4.0)
食 堂 喫 茶	91,012,285	2.8	-8.4 (-8.1)
サ ー ビ ス	35,607,113	1.1	-1.6 (-1.9)
そ の 他	60,460,706	1.9	13.7 (12.6)
商 品 券	104,714,330	3.3	-12.9 (-13.3)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

東京地区百貨店 売上高速報 2009年01月～2009年06月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	798,173,373	100.0	*-11.9 (-11.5)
紳士服・洋品	63,556,430	8.0	-17.7 (-17.8)
婦人服・洋品	180,629,338	22.6	-15.4 (-15.3)
子供服・洋品	18,941,388	2.4	-9.6 (-9.4)
その他衣料品	18,856,819	2.4	-17.3 (-17.4)
衣 料 品	281,983,975	35.3	-15.7 (-15.6)
身のまわり品	109,641,921	13.7	-12.8 (-12.6)
化粧品	40,785,098	5.1	-9.1 (-8.9)
美術・宝飾・貴金属	38,092,828	4.8	-21.4 (-21.5)
その他雑貨	44,479,079	5.6	-19.1 (-18.0)
雑 貨	123,357,005	15.5	-16.8 (-16.4)
家 具	13,090,459	1.6	-20.0 (-19.8)
家 電	4,091,199	0.5	-14.2 (-14.2)
その他家庭用品	27,709,788	3.5	-16.0 (-15.7)
家 庭 用 品	44,891,446	5.6	-17.1 (-16.8)
生 鮮 食 品	28,923,554	3.6	-3.5 (-1.9)
菓 子	52,772,697	6.6	-2.9 (-2.6)
惣 菜	38,667,488	4.8	-9.6 (-9.4)
その他食料品	62,631,832	7.8	-5.7 (-5.2)
食 料 品	182,995,571	22.9	-5.4 (-4.9)
食 堂 喫 茶	21,178,344	2.7	-9.8 (-7.1)
サ ー ビ ス	13,013,157	1.6	12.2 (14.2)
そ の 他	21,111,954	2.6	44.7 (44.7)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

商 品 券	19,912,793 千円	*-18.2 (-18.9)
従 業 員 数	112,814 人	-2.6
店 舗 面 積	5,846,955 m ²	-0.3

営 業 日 数	29.7 日	前年	30.1 日
---------	--------	----	--------

全国百貨店上半期(1月～6月)売上高

半期	売上高(千円)	対前年増減率(%)
2009(平成21年)上半期	3,213,385,487	※ -11.0(-11.2)
2008(平成20年)上半期	3,617,120,643	-2.8(-2.7)
2007(平成19年)上半期	3,718,504,946	0.6(0.1)
2006(平成18年)上半期	3,714,074,471	-0.3(-0.4)
2005(平成17年)上半期	3,730,634,925	-1.4(-1.9)
2004(平成16年)上半期	3,801,563,776	-2.0(-2.0)
2003(平成15年)上半期	3,878,032,737	-2.8(-2.8)
2002(平成14年)上半期	3,988,301,208	-1.7(-2.2)
2001(平成13年)上半期	4,078,302,038	-0.5(-2.8)
2000(平成12年)上半期	4,194,845,647	-1.2(-1.4)
1999(平成11年)上半期	4,255,538,777	-3.2(-2.0)

東京地区百貨店上半期(1月～6月)売上高

半期	売上高(千円)	対前年増減率(%)
2009(平成21年)上半期	798,173,373	※ -11.9(-11.5)
2008(平成20年)上半期	902,383,525	-1.8(-1.3)
2007(平成19年)上半期	913,869,134	0.6
2006(平成18年)上半期	908,216,605	-0.3
2005(平成17年)上半期	911,193,815	-2.3
2004(平成16年)上半期	932,493,336	-3.4
2003(平成15年)上半期	965,710,296	-3.8
2002(平成14年)上半期	1,003,594,255	-3.0
2001(平成13年)上半期	1,034,915,429	0.7(-0.7)
2000(平成12年)上半期	1,042,297,743	-1.1(-2.6)
1999(平成11年)上半期	1,070,352,873	-2.2(-3.3)

※ は 店 舗 数 調 整 後 、 () は 調 整 前

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田・佐藤まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>